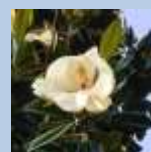


佐倉市立上志津中学校

泰山木



H25.11.29
発行責任者
山口 俊久

在籍数	
1年生	108名
2年生	115名
3年生	115名
計	338名



辛い、という漢字を、幸せ、という字に変えるのは、
自分の努力と思いやる心

校長 山口 俊久

二〇一三年も残すところ一ヶ月となりました。年々、
一年の経つのを早く感じるのは、歳をとってきているか
でしょうか？

外を見ると、白い息を吐きながら半袖・ハーフパンツ
で長距離走をやっている生徒の姿が見られます。比較的
に好かれる球技系に比べ、克服的な種目である長距離走
は嫌われ気味ですが、先生の励ましの言葉に込めて、元
気に走っています。終わった後の『うがい・手洗い・汗
の始末』を忘れないように！

音楽室からは『大地讃頌』の合唱の音量が、段々と上
がってきました。全校での合唱を楽しみにしています。
定期テストが終了し、先生方は成績処理で大忙し！
テストが終わったからといって三年生はのんびりはし
ていられませんね。公立高校前期入試まで約三ヶ月、私
立高校についてはもっと短いですよ。計画的に取り組み
ましょう。困ったら相談して！

「入づきあい」疲れない人間関係のヒント

作家 曾野 綾子 さん

友人の本当の出番は、相手が何らかの意味で、不幸に
出会った時だと思ふ。健康で、順調に暮らしている時に
は、ほっておいてもいい。しかし相手が肉親を失ったり、
病気になる時こそ、友人は出て行くべきなのである。
目的はたった一つ、ただその人と一緒にいるためであ
る。

全国学力・学習状況調査結果について①

平成二十五年度「全国学力・学習状況調査」が三
年生を対象に四月二十四日に実施され、国語・数学
のテストとともに、生活・学習状況に関する生徒質
問を八十三項目行いました。国語・数学のテスト結
果は個票を作成して生徒へ知らせ、十一月の三者面
談で保護者に個別の説明を行いました。本校三年生
の全体を通しては、全国値と比較し
て次のように分析しました。

今回は、生徒質問から見える本
校生徒の実態について記載します。

1 良好な状況

① 九割の生徒が朝食を食べ、規則
正しい生活（十一時位までに寝て、
六時半位までに起床）を送ってい
ます。



② 「自分にはよいところがあるか」「将来の夢や
目標を持っているか」の項目では、七割の生徒が肯
定的に回答しています。

③ 学校に行くのは楽しいか」「学校で友達に会う
のが楽しいか」の項目では、八割以上の生徒が肯定
的に回答しています。多くの生徒にとって安心してき
る学校であることが感じられます。

④ 「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかった
ことがあるか」の項目では、九割以上の生徒が「当
てはまる」と回答しています。これからも多くの場
面で成就感を味わってもらいたいです。

⑤ 土曜日の午前の過ごし方で、本校は部活動への参
加が七割強で全国値より一割高いです。習い事や

☆☆12月の行事予定☆☆

4日(水)	認知症サポーター養成講座
6日(金)	3年実力テスト
9日(月)	全校集会
10日(火)	3年三者面談(～12日) 1年書き初め指導
11日(水)	市長学校訪問
18日(水)	給食最終
19日(木)	昼食持参 1・2年期末保護者会
20日(金)	終業式
23日(祝)	天皇誕生日
24日(火)	冬季休業開始(～1/6)
1/7(火)	始業式
1/8(水)	給食開始



スポーツ活動を加えると、八割を超える生徒が目
的をもって活動をしている様子がうかがえます。

2 課題となること

① 携帯電話やスマートフォンを持っていない割合
は、全国値とほぼ同じ三割です。「通話やメール
をしているか」の項目では、ほぼ毎日や時々を合
わせると六割となります。普段のインターネット
の使用時間は、二・四時間の使用は全国値と同じ
です。使用について留意しましょう。

② 「普段自分で計画的に勉強をしているか」の項
目では、「全く・ほぼしていない」の割合が全国
値より高い六割強になっています。「宿題はやっ
ているか」では、全国値と同じ六割がやっている
と回答しています。

③ 学校が休みの日の勉強時間(塾等を含む)の
項目では、「全くしていない・一時間以内」が
三割です。

「普段の日の家庭での学習時間(塾等を含む)」
の項目では、「全くしない・三十分以内」が二割
です。計画的な学習習慣をつくり取り組むことに
より、学力向上をめざしてもらいたいです。

ほのぼのランチではのぼのタイム

ほのぼの隊長 3年 K・Y

初めての経験という中で、ほのぼの隊長という立場で動き、どのようなことをやるのか分からなかったため、活動が始まる前はいろいろな不安がありました。しかし、おじいさんやおばあさんたちの名札を作ったり、招待状を書いたりしていく中、少しずつ不安はなくなってきました。ほのぼの隊長の放課後の集まりでは、最終下校ギリギリまで頑張っており組みました。また当日の学年全員での準備でも、少し戸惑ったところもありましたが、みんなで協力し合い、予定よりも早く終わりが、歌の練習などができる時間も作れて良かったです。

ほのぼのランチが始まり、レクの百人一首や給食を食べている間は、ゲストの方々と楽しく会話などができて、すごく喜んでもらえていてとても嬉しかったです。また、最後のお見送りでは、たくさんの方々からいろいろなお礼の言葉をいただいて、自分なりにがんばったかがあり、達成感もあって、さらにうれしい気持ちになりました。今回味わったこの気持ちも、失敗したようなことも、今後の生活や行事に生かせたらしめたと思います。

【担当者（竹内）から】

家族や親族にお年寄りがいる生徒が多く、普段と同じように接していこうというコンセプトで行いました。そのため失礼もあったかと思いますが、生徒たちが「喜んで欲しい」との思いで企画しました。ご参加くださった皆様が、ほんのひと時でもほのぼのとした気持ちになっていただければ幸いです。



大人に近づいた2日間

2学年担当 嶋田 義久

十一月六日・七日と、二年生が職業体験学習で、地域の皆様にお世話になりました。この二日間は学校では見ることができない頼もしい表情を見ることができました。

職種は異なるものの、働くことの喜びや大変さ、給料をもらう苦労を自分の体を通して体験しました。生徒の感想からは「大変だった」「楽しかった」と貴重な体験の成果がうかがえました。一方、職場の方からは「きてもらって助かったよ」といったお褒めの言葉をいただきました。成長した2年生が、これから

学校でさらに活躍することがお世話になった職場の方への一番のお礼だと期待しています。今後も上志津中二年生にご注目ください。



お世話になりました

十一月二日、本校吹奏楽部が中志津自治会ミュージックフェアーに参加し、下志津小学校・南志津小学校と本校で総勢約百三十名による「ふるさと」の合唱奏を行いました。多くの参観者から温かい拍手をいただくことができました。また、今年は佐倉西高校の吹奏楽部も参加し、高校生ならではの素晴らしい演奏に触れることもできました。中志津自治会館では、生徒の書道、美術作品を展示の場を提供していただきました。翌日は、志津南社会福祉協議会の福祉祭に、二十二名が参加し、模擬店や餅つき、赤い羽根金などのお手伝いをさせていただきました。地域の方の温かいことばかけや、ご配慮のもと貴重な体験の場をいただきありがとうございました。



お知らせ

■11月15日、佐倉市役所市長室にて、蔵市長より本校演劇部が感謝状をいただきました。演劇部は、志津南地区社会福祉協議会 劇団「南座」と一緒に、市内の小・中学校を中心に佐倉市主催の「認知症サポーター養成講座」に参加してきました。そして12月4日には、いよいよ本校でも「認知症サポーター養成講座」が開催されます。興味のある方は、ぜひご参加ください。



（題字下写真：市長からの感謝状）

今年の教育ミニ集会は、教育懇話会との合同実施により、佐倉市教育委員長関山邦宏様を始め、教育委員会、佐倉市議会議員、地域の方々、保護者、PTA本部役員と多くの参加をいただきました。「地域、家庭、学校の連携をとおしての育成を図る」とをテーマとし、グループで自由に意見交換を行いました。話し合いからは、「地域で学校にできることがあれば言ってみよう」「学校に協力できることを嬉しく思っています」といった有り難い言葉をいただくことができました。一方、「連携は、相互理解があつてこそ成り立つ。今やっていること以外にも入口を作ることが今後の課題。」「自転車の乗り方が気になる。指導の必要性を感じる。」「地域の高齢化に伴い、災害時など地域へ若いパワーを取り込みたい」といった貴重なお話もいただきました。皆様からいただいたご意見を、今後の教育活動に生かしていきます。ありがとうございました。



連携は相互の理解があつてこそ ミニ集会より